



北京オリンピック代表ナショナルチーム合同強化合宿 5名の選手が一つになって練習

青木JOC選手強化本部副本部長が激励

6月23日(月)～27日(金)の日程で、千葉県長柄町にある日本エアロビクスセンターで、第29回北京オリンピック代表ナショナルチーム合同強化合宿が行われた。

参加者は、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、井出樹里(トーシンパートナーズ・チームケッズ)、庭田清美(アシックス・ザバス)、山本良介(トヨタ車体)、田山寛豪(流通経済大学職員・チームブレイブ)。コーチとして、山根英紀JTU強化本部長代行、飯島健二郎同代行、八尾彰一同代行も加わった。

山根強化本部長代行は、「この合宿は、6月14日に決まったオリンピック出場選手5名を一つのチームとして意識づけることが目的。7月、8月はそれぞれのチームに戻って強化を図り、53日後に迫った北京でのレースに臨む」と話した。

練習のメニューは、スイム・バイク・ランを複合させたものが中心で、調整と身体を慣らすことに重点が置かれた。

27日(金)には、青木剛(財)日本オリンピック委員会(JOC)選手強化本部副本部長が激励に訪れ、「日本選手は、技術はよいがここ一番の勝負に弱いところがある。今後の合宿で、勝負所で競り負けないように強化してほしい」と選手たちに語りかけた。

その後、青木副本部長から選手たちに金一封が贈られた。



スイムはブイを使って実践的に練習



激励に訪れた青木副本部長(左)と一緒に。右から庭田、上田、井出、田山、山本の各選手

JTU Official Sponsors & Official Partners





バイクとランを組み合わせた実践練習。バイク3分にラン400m 8セット繰り返した



トレーニングメニューを説明する山根強化本部長代行(左)

今後のナショナルチームの予定は、チームでの合宿を行った後、7月28日(月)にJOC結団式に出席。その後、再びチームに戻って合宿を行った後、8月12日(火)にJTU壮行会に出席し、13日(水)に中国・北京入りする。競技は、8月18日(月)が女子、19日(火)に男子が北京市郊外で行われる。

庭田 清美
アシックス・ザバス



北京で結果を出すことが一番。3回目のオリンピックには自信をもって挑みたい。5月のアジア選手権では調子が良く、勝負をかけた。バンクパーではもう少しいい位置でフィニッシュしたかった。北京では、ここまでトライアスロンをできたことに感謝してスタートしたい。

山本 良介
トヨタ車体



レースの直後なので、少し疲れがあったが、今回の合宿はチーム作りの上で効果的だった。世界選手権後に少しオフを入れ、疲れを取った。北京は気候が日本と似ているので、自分を高めることで対応する。今後は、暑いところで練習するか、涼しいところですか、考えて行こう。

井出 樹里
トーションパートナーズ・チームケンズ



本格的な強化は、7月から。リカバリーを長めにとり、調整してきた。メンバーと合流して、いい雰囲気をつくれた。昨年はオリンピックのためにポイント稼いだので疲れが残った。今年は、石垣島から体調を落としたが、ここに来て身体が動くようになってきた。

田山 寛豪
流通経済大学職員・チームプレイブ



エイラートで優勝してからの半年は、さまざまことを経験し、そのなかでトライアスロンが好きだと確認できた。アジア選手権も優勝したかった。バンクパーではいい走りができた。来週からは、本格的な強化に入る。7月は舞洲大会に出場予定。北京では、スイムから前へ出る。

JTU Official Sponsors & Official Partners

